

令和3年度 学校関係者評価書

4つの「重点的な取組事項」について

「自己評価書」全般について

引き続き、コロナ禍での1年となり、今年度も当初に予定していた教育活動とはなかったが、校長先生をはじめとした教員の努力によりに各項目において一定の成果があげられています。また、校長先生によるブログを活用した毎日の情報提供（右記）により、**昨年指摘された保護者への情報伝達不足が大きく改善**されるとともに、地域への情報発信にもなっています。ただし、**あいさつについては引き続き課題**が見える。コロナ禍で大きい声であいさつすることが憚られるところですが、会釈をすることやあいさつの気持ちを大切にする指導を通して改善を図っていただきたいと思います。

自己評価書に記載の**各項目の達成度等については適正**であると考えます。

「学力の向上」

今年度も全教員が協力して、児童全員に配布されたタブレットを活用するなど、目標達成に向けた取り組みを行っています。その結果、**目標としていた学力調査の通過率も達成**しており、学習の定着が図られています。

今後も新しい生活様式の中で教員の特性を活かし、学力の向上に向けた様々な取り組みを行うことを期待します。

「体力の向上」

コロナ禍で体力向上の取り組みが制限される状況で、工夫をしながら目標に向け取り組んでいるが、**結果には課題が感じられます**。感染予防対策を行いながら、今できる活動を維持向上させる取り組みを期待します。

「心の醸成」

いじめについてはひとつひとつ丁寧に取り組むなど、適切に対応しています。

コロナ禍となり、一層、他者を思いやる心が大切になっており、引き続き、心の醸成に向け積極的な対応を期待します。

「保護者・地域との連携協力による教育活動の充実」について

コロナ禍でも**各ボランティアとは引き続き良好な関係**が築けています。今後も地域の力を借りながら児童が主役となる学校としていく取り組みを期待します。あいさつについては全般にも記載しましたが、課題が残ることから、今後、学校・協議会・地域と連携した取り組みにより向上させていきたいと思います。

協議会として特に評価する取組

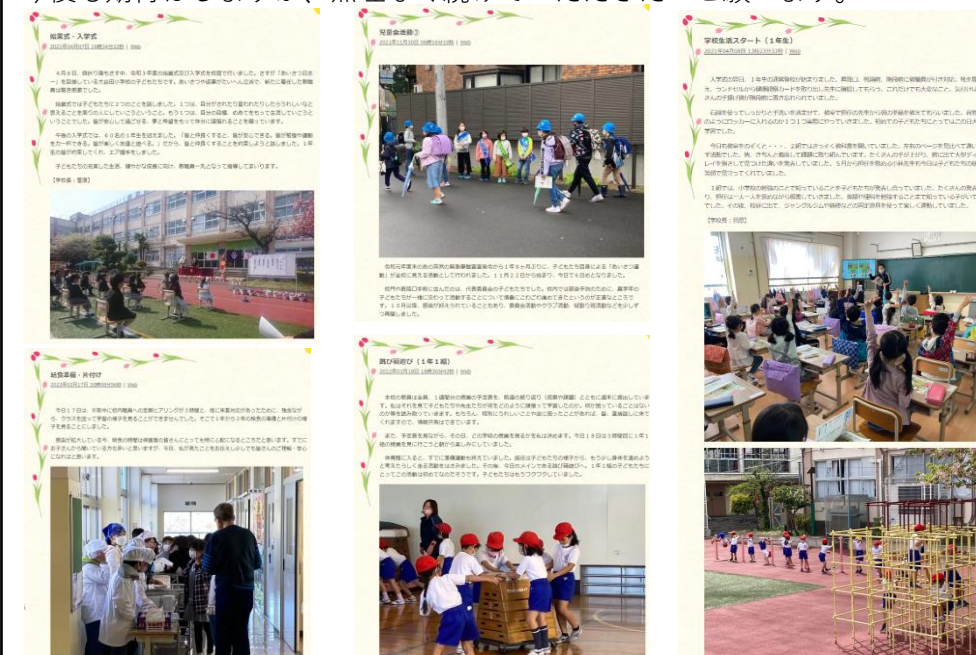
校長先生が毎日執筆するブログ記事(学校ウェブサイト)

- 菅原秀道校長先生(今年度着任)の学校ウェブサイト・ブログの取組
- 入学式翌日の4月7日以降2月末までに**連日計206件の記事を執筆し継続中**
- 内容は授業や行事、登下校の様子など、ありとあらゆる学校の活動
- 保護者アンケートでも「児童の様子がよくわかる」と**大変好評**

※今年度の保護者アンケートは、学校努力で**回収率80%超**の目標達成
協議会の評価：◎²

着任校長の人物や思いが伝わると同時に、コロナ禍で保護者・地域とのコミュニケーションが減る中、**極めて有効な解決策**の1つとして高く評価します。多大な労力がかかっていることは一目瞭然。

今後も期待はしますが、無理なく続けていただきたいと思います。



学校関係者としての思い

- コロナ禍により活動が制限される状況が続くが、**ピンチはチャンスと前向きにとらえ**、協議会としても学校と協力して改善に向けた取り組みを行っていきます。
- 今後も先生・保護者・地域の方々との**コミュニケーションを最重視**し、更なる支援活動の充実に向けて主体的に取り組んでいきたいと考えます。